八王子市における義務教育学校について

義務教育学校とは

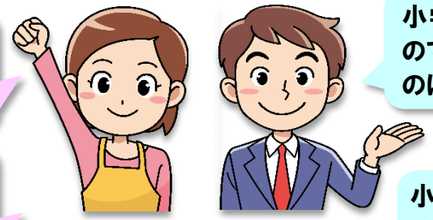


義務教育学校

義務教育学校では、小学校6年間と中学校3年間を一貫した1つの学校で生活を送ります。義務教育9年間を1つの学校で生活し、学ぶことで、安定した学校生活を送ることができます。

小中の先生や児童・生徒たちが常に一緒にいることで、中学校進学への不安が解消されたね。

5年生と7年生の交流など、小中分離型ではなかなかできないたてわりの交流ができる。



前期課程の先生（小学校）　後期課程の先生（中学校）

小学校での様子が分かっているので、実態に即した指導ができるのは、すごくいいね。

小学生との交流が日常的にあることで、上学年としての自覚や自尊感情の高まりにつながるね。

学年区分と発達段階の捉え方

9年間の発達を3つの段階で捉え、9学年の区分を「4－3－2」を基本とします。

第5学年から授業1単位時間を50分とし、教科担任制、定期テストを導入します。

	第Ⅰ期				第Ⅱ期			第Ⅲ期	
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
授業スタイル	学級担任による授業		一部教科担任制		教科担任制				
定期テスト					6、11、2月		6、9、11、2月		
評定	2段階	3段階					5段階		
児童・生徒会	当番活動、係活動、児童会活動				児童・生徒会活動、委員会活動				
クラブ活動・部活動					一部の部活動に参加が可能		全ての部活動に参加が可能		

児童会活動の委員会活動や生徒会活動は、主にⅡ・Ⅲ期の児童・生徒で組織し活動します。

小学校のクラブ活動と中学校の部活動は、活動の特性等を踏まえて関連させて活動します。

よくある質問

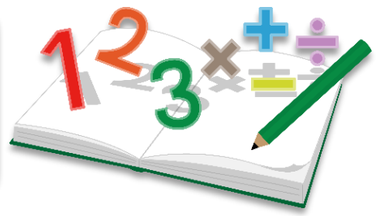
Q1	八王子市内は今後、全ての小・中学校を義務教育学校にしていくのですか。	
A	全ての学校を義務教育学校にするわけではありません。	義務教育学校は、地域との関わりが非常に強くなります。地域のニーズと学校の実態等の条件が整った段階で、義務教育学校の導入を検討することになります。

Q2	5年生から教科担任制となり、50分授業が始まります。「小5ギャップ」にならないか心配です。	
A	心配ありません。	教科担任制になることで、教師の専門性を生かすことができ授業の質の向上が図れます。また、授業時間が５０分になることで「＋５分のゆとり」が生まれ、振り返りの時間を十分に確保できる等、丁寧な授業展開が可能になります。

八王子市立義務教育学校の学習指導

【第5学年から教科担任制（50分授業）】

教員の専門性を生かし、授業の質を向上させます。また、横とたてのつながりが生まれ、教師の児童・生徒理解が深まり、「中1ギャップ」の解消につながります。



【第5学年から定期テストの実施】

授業における学習内容の定着度を測るため、第５学年から定期テストを導入します。定着が不十分な内容については、学年を越えてフォローすることができます。

八王子市立義務教育学校の生活指導

【9年間の系統的・継続的な指導】

義務教育修了時を想定し、9年間を見通した教育目標を設定します。第1学年から9学年の教職員の緊密な連携ができることで、一人一人の実態に沿った指導・助言ができます。



【下学年への思いやりと上学年への憧れ】

9学年の児童・生徒が一つの学校で共に生活することで、下学年は上学年を自分の成長モデルとし憧れの気持ちをもつようになります。また、上学年にとっては、下学年に成長モデルを示し、優しい気持ちで接するようになります。

八王子市立義務教育学校の特別活動

【ダイナミックに活動できる学校行事】

9学年の児童・生徒がそろって活動することで、一つ一つの学校行事がダイナミックになります。中学校の合唱コンクールに児童が参加したり、小学校の運動会に向けた取り組みに中学生が手本を示したり、活動の幅は広がります。



【児童会活動と生徒会活動の連携】

児童会と生徒会が連携して取り組むことが可能になり、上級生によるあいさつ運動や登下校の見守り運動を盛んに行うことができます。また。地域の方の協力も得ながら、地域一体となって、児童・生徒の安全を見守ることができます。